30岩医大医第22号
平成30年8月1日

国公私立医科大学長　殿
国公私立大学医学部長　殿
関係機関の長　殿

岩手医科大学
医学部長　佐藤洋一
〔公印省略〕

放射線医学講座主任教授候補者の推薦について（依頼）

謹啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて本学では、医学部放射線医学講座主任教授が平成31年3月31日付で定年退職を迎えることに伴い、その後任教授候補者の公募を行うことになりました。

岩手医科大学は、「誠の医師育成」を理念に掲げ、「厚生済民」を大学の使命として設立された大学です。従いまして、本公募においては、優れた臨床能力および各講座・診療科との調整能力を有し、教育研究においてもその能力を活かして学生や研修医等の指導にあたり、将来の本学および地域医療の発展を担う人材を求めております。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮でございますが、貴学および貴学関係機関等において適任者（医師）がおられましたら、下記の書類を添えてご推薦下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1．応募資格　・博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）
・放射線科領域の多岐にわたる疾患のすべてに対する診断と治療に精通していること
・日本医学放射線学会放射線専門医（必須）
・日本医学放射線学会放射線診断専門医または放射線治療専門医（必須）
※本学では教授に教育現場での教導を強く期待することから、医育機関において責任有る立場で教育活動実績を積まれた方を望んでおります。

2．応募書類の内容
（1）推薦書　(別紙1)
（2）履歴書　(別紙2)
（3）業績目録（別紙3）
①著　書
②総　説
③原　著　（①～③の中から主要論文10編を選び、その別刷（コピー可）を添付するとともに主要論文の価値と意義について、200字程度で別紙8に記載願います。）
④症例報告
⑤学会発表（特に重要なものに限る。）
⑥その他
（4）【診療実績】診療実績の概要（別紙4）
（5）【教育実績】学部・大学院における教育活動状況　(別紙5)
（6）【研究実績】科学研究費補助金・各種研究助成金等採択状況　(別紙6)
（7）【産学連携・技術開発実績】　(別紙7)
（8）診療、教育、研究の内容および将来に対する抱負　(別紙8)

3．応募の締切　平成３０年９月３０日（日）消印有効

4．応募書類の提出先　　〒020-8505　岩手県盛岡市内丸１９番１号　　岩手医科大学医学部長　宛

5．問合せ先　　医学部教務課　電話　０１９－６５１－５１１１（内線　3221・3223）

6．その他

（1）本学にご来学のうえ、診療・教育・研究の内容あるいは抱負等のプレゼンテーションをお願いする場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

（2）選考委員が面談のため貴施設を訪問させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

（3）封筒には「放射線医学講座教授応募書類」と朱書きし、応募書類１部を「書留」で郵送下さい。

（4）応募書式ファイルの請求は、次のメールアドレスまでお願いします。
ikyomu@j.iwate-med.ac.jp　（岩手医科大学　医学部教務課）

（5）ご応募いただいた書類は、本学個人情報保護規程に基づき、選考資料としてのみ使用し、それ以外の目的には一切使用いたしません。ご提出いただいた応募書類は返却いたしませんので、予めご了承下さい。

（6）記載にあたっては別紙「記載にあたっての注意事項」を参照して下さい。

以　上

別　紙　1

推　　薦　　書

候補者の現職名および所属	(ふりがな) 氏　　名　　(生 年 月 日)
	年　　月　　日 生
推 薦 理 由	
候補者の主たる研究分野	
参 考 事 項	
平成　　年　　月　　日 推薦者の職・氏名 印 岩手医科大学　医学部長　殿	

別　紙　2

履　　歴　　書

平成　　年　　月　　日

ふりがな 氏　　名 生年月日	印 年　　月　　日　生（　　才）	写真貼付欄 (5cm×4cm)
本　籍　地		
現　住　所	電話　　－（　　）－	
現　　職		

	元号	年	月	日	事　　項
学　　歴 及　　び 職　　歴					

免　　許	医師免許（登録番号　　号）　昭和・平成　　年　　月　　日
学　　位	博士（　　大学）　昭和・平成　　年　　月　　日
その他 （学会活動等）	

注）本籍地欄は、都道府県名を記載下さい。

業　績　目　録

（別紙３）

氏　名	

著　　書

氏　名	

総　　説

氏　名	

原　　著

氏　名	

症 例 報 告

氏 名	

学 会 発 表

氏 名	

そ　の　他

氏　名	

別　紙　4

診 療 実 績 の 概 要

備考

1．診療実績の概要について1,200字以内で記載下さい。

氏　名	

別 紙 5

学部・大学院における教育活動状況(最近5年間)

分野	年度	内　容
・講義・実習の実績(PBL チュートリアルを含む) (担当部分のシラバス(写)を別紙で添付下さい。)		
・学内外の FD(教務関連、教育ワークショップ等)への参加実績 (一般参加、タスクフォース等役員参加の別も併せて記載下さい。)		
・学内教育活動 (チューター、試験問題作成委員等教育・教務関係業務の実績を記載下さい。)		
・学外教育活動 (他大学、専門学校等の教育活動)		

氏　名	

・その他の教育活動 （授業評価の結果、社会的教育活動等）		
・教育関連学会等の業績 （業績目録の記載方法に準拠して記載下さい。）		

氏　名	

別 紙 6

科学研究費補助金・各種研究助成金等採択状況(最近10年間)

番号	区 分 (年度)	研究助成費等の名称	科学研究費補助金研究課題名又は 各種研究助成金等研究課題名	代表者又は 分担者の別

氏 名	

別 紙 7

産学連携・技術開発実績

氏　名	

別 紙 8

診療・教育・研究の内容および将来に対する抱負

(1200 字以内)

氏 名	

別 紙 9

主要論文 10 編のそれぞれの意義

論文名
論文説明
論文名
論文説明

氏　名	

記載にあたっての注意事項

1．A4用紙に片面印刷とし、ページ下中央にページ番号を振って下さい。
2．各ページの余白は、上下25mm、左右20mmとします。
3．文字の大きさは10.5ポイントで、和文はMS明朝体、欧文はCentury若しくはそれに近いフォントを使用して下さい。
4．行をまたぐ枠ならびに説明の挿入は、レイアウト枠、若しくはテキストボックスを使用して挿入して下さい。
5．記載に際して、ページは、適宜増やして差支えありません。但し、改ページに注意して下さい（総説、原著等の見出しは、必ず各ページの最上部に来るようにして下さい）。
6．推薦書（別紙１）は、３通までとさせていただきます。推薦者に直接お問い合わせさせていただく場合がありますので、その旨ご了承下さるようお願いいたします。
7．履歴書（別紙２）の学歴は、大学入学時から記載して下さい。
8．履歴書（別紙２）のその他（学会活動等）には、専門医等取得している資格を含めて記載して下さい。
9．業績目録記載にあたっては、以下に注意して記載して下さい（教育関連の業績については、別紙５教育活動状況に記載して下さい）。
①各ページとも、右下に氏名を記載。
②業績は、Ⅰ-1　著書（英文）、Ⅰ-2　著書（和文）、Ⅱ-1　総説（英文）、Ⅱ-2　総説（和文）、Ⅲ-1　原著（英文）、Ⅲ-2　原著（和文）、Ⅳ-1　症例報告（英文）、Ⅳ-2　症例報告（和文）、Ⅴ-1　特別講演（国際学会）、Ⅴ-2　特別講演（国内学会）、Ⅴ-3　シンポジウム（国際学会）、Ⅴ-4　シンポジウム（国内学会）、Ⅴ-5　一般講演（国際学会）、Ⅴ-6　一般講演（国内学会）、Ⅵ　その他の項目に分け、それぞれの項目毎に発表年代順（古いものから記載し最後は最近のもの）に一連番号を付す。
③in pressを含むが、投稿中、準備中は除く。
④記載はバンクーバースタイルで行うが、著者が複数の場合は全員の氏名を記載し、本人に下線を引く。
⑤corresponding authorの場合は本人の氏名の後に（corresponding author）と記載。
⑥記載にあたって、発表雑誌名は医学中央雑誌収載誌目録、またはNLM（米国国立医学図書館）方式で省略。（NLM方式はPubMedのJournals Databaseで検索可。）
⑦主要論文10編を添付する。添付する論文には○印を、学位論文には◎印を付ける。
⑧教授（特任教授、客員教授、特命教授を含む）候補者は、主要論文10編について各200字程度で要約を作成し添付（別紙９）。
⑨Short communicationやLetter to the editor、Proceeding、1ページもののSupplementなどは、その旨を明記の上「Ⅵ　その他」に含める。
⑩原著はPeer reviewを経たものに限定して記入。
⑪総説、原著の英文については、最後に最新版のインパクトファクター値（小数点第3位まで）を括弧内に記入すること。なお、インパクトファクター値がない場合には括弧内になしと記す。

（記載例「原著」参照）

10. 教育活動状況（別紙５）記載にあたっては、以下に注意して記載して下さい。

①講義・実習の実績については、実績を記載するとともに、ご自身が担当された部分のシラバス（写）を別紙（A4用紙）で添付して下さい。

②教育関連学会等の業績に関する記載は、前記９の①～⑤に準拠して記載して下さい。

記載例.

著　書

（英文）Ringsven MK, Bond D. Gerontology and leadership skills for nurses. 2nd ed. Albany(NY): Delmar Publishers; 1996.

（和文）辻陽雄. 基本腰椎外科手術書. 東京：南江堂；1988.

単行本の中の章

（英文）Phillips SJ, Whisnant JP. Hypertension and stroke. In: Laragh JH, Brenner BM, editors. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management. 2nd ed. New York: Raven Press; 1995. p.465-78.

（和文）山室隆夫. 股関節の血管系の解剖とその発育. 伊藤鐵夫編. 股関節外科学. 第4版. 京都：金芳堂；1976：p. 39-59.

原著

（英文）Vega KJ, Pina I, Krevsky B. Heart transplantation is associated with an increased risk for pancreato- biliary disease. Ann Intern Med 1996;124: 980-3.（1.111）ない場合は（なし）

（和文）浅井富明, 牧山友三郎, 南場宏通. 習慣性肩関節脱臼の治療経験. 中部整災誌. 1979; 22：1192-94.

学会発表

（英文）Kimura J, Shibasaki H. Recent advances in clinical neurophysiology. 10th International Congress of EMG and Clinical Neuro- physiology; 1995; Kyoto, Japan.

（和文）佐藤洋一. 蛍光イメージングによる動的形態学の意義. 第113回日本解剖学会全国学術集会；2008；大分.